2013.3

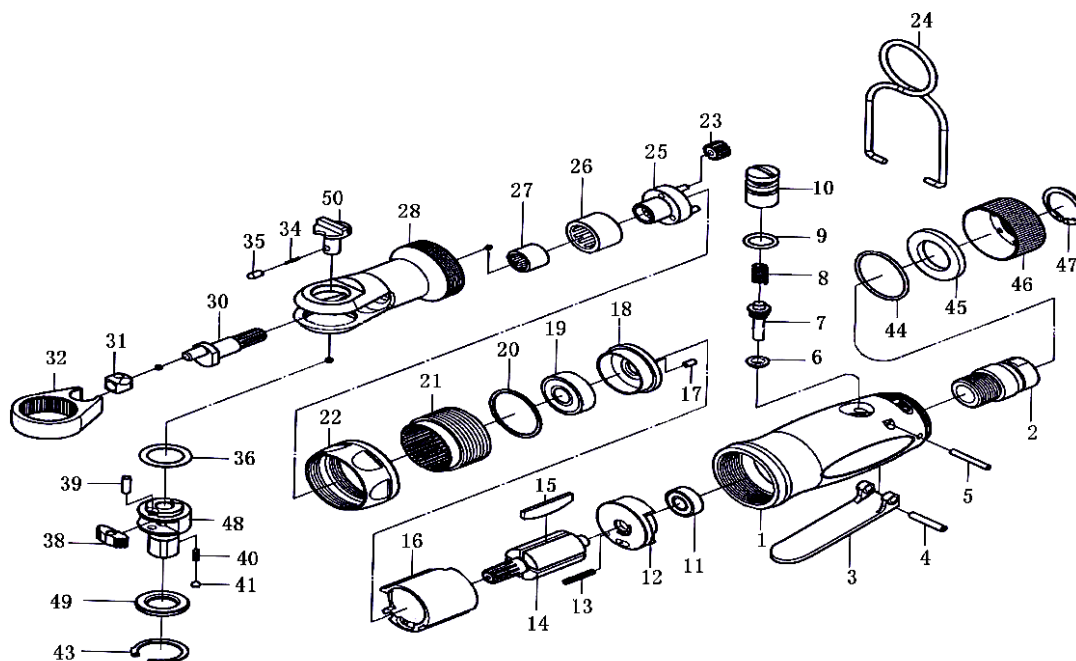
取扱説明書
エア・ラチェット・レンチ
品番：＃３６５１１２００　型式：Ｗ１０１７３

１，使用方法
①本機とコンプレッサーの間に、エアフィルター・レギュレター・エアルブリケータ（３点セット、別売り）を取り付けて下さい。
②２，エアインレットに、ゴムホースを取り付け、クイックカプラを取り付けて下さい。直接、２，エアインレットにクイックカプラを取り付けると振動によりカプラが外れ、ケガを負う恐れがあります。
③使用前に、ゴムホース先端のカプラ部より、タービン（スピンドル）油（＃６０）を数滴注油して下さい。
④３，始動レバーを押すと、４８，アンビルが回転し、離すと止まります。
⑤５０，切替爪をＦ方向に切り替えると４８，アンビルが時計回転方向に、Ｒ方向に切り替えると反時計回転方向に回転します。
⑥**使用後は、ゴムホース先端のカプラ部より、タービン（スピンドル）油（＃６０）を数滴注油して、約１０秒程度空回転して下さい。オイル注油を怠ると、本機内部に錆が発生し、故障の原因になります。**
※３，始動レバーを押しても本機が回転しない時は、１，ハウジングを軽く叩いて下さい。これは、１５，ブレードの位置により空気の通り口を完全に塞いでしまうのが原因です。それでも本機が回転しない場合は、故障の可能性があります。

２，注意事項

⚠**警告**（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）
①本機の**最大使用空気圧は、５８８ｋＰａ（６ｋｇ／ｃｍ^2）**です。それ以上の空気圧で本機を使用しないで下さい。
②本機の分解、修理、改造はしないで下さい。
③未使用時や、**ソケットを交換する時は、必ず本機への空気の供給を止めて**、本機をコンプレッサーから外して下さい。
④使用中や使用後直ぐに、回転部分には手を触れないで下さい。
⑤本機に**ソケットを取り付けた状態での空回転や、人に向けての使用はしない**で下さい。
⑥本機への注油に、ガソリン、灯油等の可燃性物質を使用しないで下さい。
⑦３，始動レバーを故意にロックさせて使用しないで下さい。

⚠**注意**（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）
①本機に破損箇所がある場合、ソケット、アタッチメント、ゴムホースの破損、異常がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
②作業に適した服装、安全眼鏡、マスク、耳栓等を着用して下さい。
③作業場所は常に整理して、作業関係者以外は、作業する場所に近付けないで下さい。
④本機は、ボルト、ナット、ネジの締め付け、緩めるのに使用する工具です。その他の用途には使用しないで下さい。
⑤ボルト等が緩まない時は、**無理に続けて使用しない**で下さい。
⑥本機を**手動のラチェットとして使用しない**で下さい。
⑦本機でボルト等を締めた際は必ず、手動工具を使用して増し締め、締結確認を行って下さい。

３，部品分解図

品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称	品番	部品名称
１	ハウジング	１３	スプリングピン	２５	ギアキャリア	４０	スプリング
２	エアインレット	１４	ローター	２６	ニードルベアリング	４１	ピン
３	始動レバー	１５	ブレード	２７	ニードルベアリング	４３	リテーナーリング
４	スプリングピン	１６	シリンダー	２８	ラチェットハウジング	４４	Ｏリング
５	スプリングピン	１７	スプリングピン	３０	シャフト	４５	マフラーフィルター
６	パッキン	１８	フロントプレート	３１	ドライブブッシュ	４６	ディフレクター
７	ピンバルブロッド	１９	ベアリング	３２	ヨーク	４７	リテーナーリング
８	スプリング	２０	ワッシャ	３４	スプリング	４８	アンビル
９	Ｏリング	２１	ギア	３５	ロックピン	４９	ワッシャ
１０	ダイヤル	２２	ロックナット	３６	ワッシャ	５０	切替爪
１１	ベアリング	２３	ギア	３８	ラチェットポール		
１２	リアプレート	２４	サスペンションリング	３９	ピン		

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００